

## 9 将来にわたる実質的な財政負担

将来にわたる実質的な財政負担（地方債現在高＋債務負担行為額－積立金現在高）は、地方債現在高の増加及び積立金現在高の減少により、前年度より 5 億 5,691 万 3 千円（0.1%）増加し、5,785 億 7,506 万 1 千円となった。

第 15 表 将来にわたる実質的な財政負担の状況 (単位：百万円、%)

区分	令和元年度	平成 30 年度	増減額	増減率
地方債現在高 A	684,858	671,645	13,213	2.0
債務負担行為額 B	93,487	108,625	△15,138	△13.9
積立金現在高 C	199,770	202,251	△2,481	△1.2
将来にわたる実質的な財政負担 A+B-C	578,575 (1.59)	578,018 (1.58)	556	0.1
(対標準財政規模※20 年度から臨時財政対策債発行可能額を含む。)	※臨時財政対策債発行可能額を除いた場合は、1.68	※臨時財政対策債発行可能額を除いた場合は、1.68		

注) 表示単位四捨五入の関係で、計が一致しない場合がある。

第 11 図 将来にわたる実質的な財政負担の推移

